

目的別イノベーションテーマ

1

行動変革、意識(問題意識、改善意識、コスト意識など)改革を実現する5S活動

▶意識改革を実現する5S活動の必要性.....

働き方改革を効果的に進めるには、事務所も本格的な5S活動を導入して、働く人の行動を変えながら、考え方と意識を変えることが必要である。雑然としたムダだらけの職場から、間接部門全員参加の5S活動を推進してモノのビジュアル化を進めることで、間接業務効率化の基本的要件を確立する。

①ムダ意識

探すムダ、余計に持つムダなどを5S活動で徹底的に排除し、ムダ意識を喚起する。

②規律意識

職場のルール、仕事の手順、約束事を決め、きちんと守る。

③問題意識、改善意識

使用頻度に応じたモノの持ち方、未使用実績期間から要・不要の考え方などのあるべき姿を常に考え、実情とのギャップを問題として捉える意識と改善意識を高める。

▶ノウハウ・推進ポイント.....

5S活動に取り組むことによって行動が変わり、意識が変わるノウハウと推進ポイントは、以下の通りである。

①考え方を成文化された基準やルールに落とし込む

整理基準、整頓基準、清掃ルールなどを各準備段階で作成し、活動する。
手持ち基準、清掃ルールは基準とルールづくりから職場全員が参加する。

②全員参加で活動する

5S活動管理板を設置し、5Sの目的、狙いを全員が共有し、組織化して活動計画(P：推進場所、内容、担当、期限)、実施結果(D)、反省・点検・指導(C)と対策(A)を全員で回す。5Sでマネジメントの基礎であるPDCAを回し、リーダーシップを養成する。

③徹底的に推進する

たかが5Sであるが、徹底することで非凡となり得る。特に事務現場では、机の引き出しの中やキャビネットの中など、見えない、見えにくいところまで徹底的に整理・整頓を推進し、整頓を完成させることで、やり抜く力が育まれる。

④清掃を実施して、思いやりの心、気配りの心、時間を大切にすることを育む

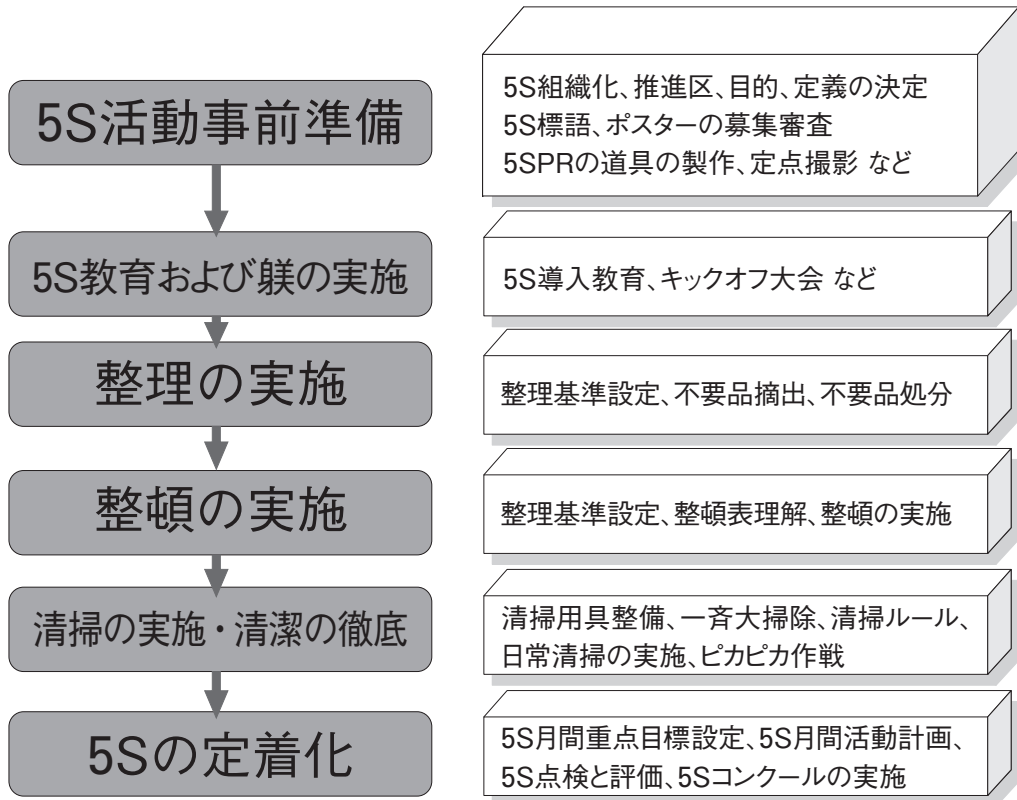
「清掃は心なり」という言葉がある通り、清掃により心も磨かれると、行動がより前向きとなり、意識も向上していく。

⑤基準やルールは守る

躰そのものであるが、守れていない人がいたら、5S活動を通して粘り強く教育指導、訓練を行って、躰を身につけさせる。

▶イノベーションの実践事例

5S 推進手順の概略と推進ポイント



▶効果

- ①働き方改革実現に必要な意識改革が進み、当事者意識が芽生えて自主性が向上し「間接業務」効率化が図れる
- ②職場のコミュニケーションが円滑となり、思いやりの心、気配りの心、モノを大切にする心、時間を大切にする心、協調心、自律心、道徳心が磨かれ、業務効率化の土台ができる
- ③リーダーのリーダーシップの養成ができ、業務効率化においてもリードしていくリーダーと協力するメンバーにより、組織力が向上する
- ④自分たちの職場を自分たちで良くしたといった自負と成功体験が人を成長させる
- ⑤底的に5Sを進めることで、やり抜く力が備わり、絶え間なく管理・改善活動を推進する組織体制が確立される

参考文献 新まるごと5S展開大事典 日刊工業新聞社

(小坂 信之)